

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第12号 平成23年5月6日

3回二死から2つの安打で逆転成功

	1	2	3	4	5	6	7	R
C	1	0	0	0	0	0		1
G	0	0	2	1	0	×		3

達脇4回8奪三振今期5勝目！



5/6（日）今期春季区民大会2回戦のセントラルバンデッド戦を三ツ池公園野球場にて戦った。今日のゲームも、先日の1回戦同様、先行逃げ切りと行きたいものである。今日の先発も1回戦同様達脇が上がった。しかし、初回、先頭に3球目を左越の2ベースを放たれ、早くもスコアリングポジションにランナーを背負う展開、だが、後続2打者を三振に斬り、あっという間に二死二塁の状態に。続く4番打者も打球を引っ掛けさせ、サードゴロに打ち取ったが、ここで、サードが痛恨のタイムリーエラーにて、先制を許した。その後後続に四球を与えたが、次打者を投飛に打ち取り、この回を1点に抑えた。その後、4回でマウンドを降りたが、各回2奪三振の合計8個、被安打1、四球3の上々の出来でマウンドを降り、今期5勝目をあげた。後を受けた林は、省エネピッチングで2回を被安打・四球0球数21球の安定した内容で、今期初セーブを上げた。そんな我がチームの攻撃だが、初回、先頭の智が体制を崩しながらも左前安打で出塁、その後盗塁で無死2塁、こちらも、相手同様あっさりスコアリングポジションに走者を進めた。ここで2番哲也が打席に入る。初球誰が見ても明らかなる死球を右肩口に受けた、にも関わらず、主審はこれをファールと大誤審、それもそうだろう。ボールが打者肩口方向に逸れたので、これを捕球する為に、立ち上がったが、主審は何とそのままの姿勢でジャッジ、これでは、誤審も当たり前だろう。その後、ふってわいた相手ベンチのきつい野次も有り、何と空振りした打球が体にあったのに、走塁した事により、守備妨害でアウトになった。しかし、場面はまだ得点チャンス、だが、3・4番があっさり打上げ同点チャンスを逸してしまった。2回も二死から四球をたかあきが選択し出塁したが、後続が見逃三振でまたもや0点、区民大会は時間が短いだけに、ベンチには少しやな雰囲気漂う。3回もあっさり二死を取られ、この回も凡退かと思った矢先、哲也が7球粘り四球を選択、すぐさま2盗、そして先程凡退した3番祐太郎がきっちり右中間に運び、哲也がホームインし同点、更に、4番一すけも中前にきっちり運び、盗塁して2塁へ進んでいた祐太郎がホームインし、この回逆転に成功した。更に、翌4回には、たかあきが打上げた投飛を相手投手が失策、送球エラーにて2塁へ進塁、そして3盗を決め、ここで好調を維持している梶原のテキサスヒットでたかあきをホームに迎え入れ1点を追加し勝利を手中に収めた。今日は参加メンバーも多かった事も有るが、相手ベンチより遥かに声が出ていたし（やや汚い表現も有ったが）、何より勝利に近づく為の波に乗って行けるシーンをチーム全体で作れた事が勝利出来た要因であろう。中々この雰囲気を作る事は難しいが、意識して出来るようになれば、常に面白い展開が作れるのでは無いか！と感じたゲームであった。